

登録コード	TSG65500	開講年度	2026				
授業科目	高効率電力システム特別実験Ⅱ					担当教員	曾根原 誠
英文授業名	High-efficiency Power System Laboratory 2					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時間	集中・不定期	対象学生	電気電子工学分野2年生
講義室				授業形態	実験	備考	高効率電力システム（曾根原）研究室所属の学生に限る。
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ，2 5 TSカリ，2 4 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	高効率に電力変換できる各種システムおよびそれに関連する電子部品や材料の基本的な知識を実験や解析を通じて修得できるようになる。
(2)授業の概要	授業のねらいに記述の高効率電力システムおよびそれに関連する電子部品・材料を実際に作製・評価・解析する。 担当するシステムや電子部品・材料に関しては各自相談の上進めていく。						
(3)授業計画	時間の目安として，単位数が4単位であるので180 hの学修が最低限必要となる。ただ180 hでは修士論文の研究を遂行するには全く不十分である。大学卒業で一般企業や行政組織に就職した場合，8 h/日×5日/週×50週/年＝2,000 h程度が一般的な勤務時間であり，修了後の社会人生活を見越して，2,000 h程度を本授業科目も時間の目安とする。						
(4)成績評価の方法	・修士論文の研究の進捗について総合的に判断する。						
(5)成績評価の基準	・【授業の達成目標】に記載の内容に対して，合格水準にあれば60点以上70点未満，前記よりもやや上にあれば70点以上80点未満，前記よりもかなり上にあれば80点以上90点未満，前記よりも卓越していれば90点以上とする。 ・大凡の目安として，研究進捗報告会（RPM）で1/2以上発表している場合は「優」相当とする。						
(6)事前事後学習の内容	・主に(4)成績評価の方法に記載の内容に対して，教員や同席の学生からのコメントに対して適宜追加実験・解析や参考文献の調査などをして，次の発表までに回答できるようにする。						
(7)履修上の注意	・実験中の事故には十分注意すること。						
(8)質問,相談への対応	・質問は教員室（W6-109）にて随時受け付ける。 ・事前に電子メール（makoto@shinshu-u.ac.jp）に連絡すること。						
(9)その他							
【教科書】	・指定しない。						
【参考書】	・指定しない。						